

2017年度予算編成の概要

— 未来を問い、そして挑戦する。 —



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三

1 予算編成の概要

2016年11月に創立130周年を迎えた関西大学は、130年の「伝統」に甘んじることなく、20年後に迎える創立150周年を見据えて、学園の理念(建学の精神、学是)を踏まえ、どのような人材を育成するのか、どのような学園を目指すかを全構成員が自ら考え、行動するための指針として、長期ビジョン「Kandai Vision 150」を策定しました。「多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか」というテーマの下に、教育、研究、社会貢献、組織運営の側面から将来像を示しています。2017年度からは、20年後の将来像と前期10年の政策目標を実質化するため、5年の中期行動計画を策定し、推進します。

さて、2017年度予算は、2017年3月30日開催の理事会において承認されました。

2017年度は、「国際化戦略2014-2023TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」を推進するため、インターカルチュラル・イマージョンキャンパスを構築すべく、異文化交流によるイマージョン空間の創出に向けた整備を行います。また、2016年度に文部科学省から選定を受けた私立大学研究ブランディング事業「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」をはじめとして、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色を大きく打ち出す研究を展開し、戦略的な情報発信を行ってまいります。創立130周年記念事業によりスタートした梅田キャンパス「KANDAI Me RISE(かんだいみらいず)」においては、未来へと飛翔する関大人のシンボルとなる都市型拠点として、学びの高度化・多様化のニーズに応え、地域・社会人・大学がともに発展できる新たな場所を創出してまいります。

2017年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

2017年度における教育研究活動の事業計画のうち、主なものは次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 教学IR[Institutional Research(インスティテューショナル・リサーチ)]による学修成果可視化の推進

成績や履修状況などの客観的データ(直接評価)に加え、学習意欲、学習経験、満足度など学修状況に関する学生へのアンケート調査(間接評価)を行い、データを組織的に収集・分析し、可視化することによって、学生本位の教育改善につなげていきます。全学的な入学時調査並びに卒業時調査に加え、一部の学部で既に実施している、上位年次を対象とするパネル調査や卒業後の調査など、調査範囲を拡大し、その分析結果を学生にフィードバックするシステムを構築します。

イ 「国際化戦略2014-2023TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」の推進

外国語(英語)教育体制の充実を図るための環境を整備し、本学学生が国際的なコミュニケーション力、共感力、創造性、積極性、そして、異文化適応能力を養う異文化イマージョン教育(Intercultural Immersion Initiatives(インターカルチュラル イマージョン イニシアチブズ))を展開します。

2017年度からは、アクティブ・ラーニングを通じて国を越えた学生間の国際交流を促進させる「グローバルPBL(Project/Problem Based Learning(プロジェクト/プロブレム ベースド ラーニング):プロジェクト型・課題探求型学習)」の手法を取り入れた授業を開講します。



【Mi-Room】

また、英語でのコミュニケーションを基本とし、学生が主体的に異文化交流・国際体験をでき、留学生との共修や交流を積極的に行うMi-Room(エムアイ・ルーム)(Multilingual Immersion Room(マルチリンガルイマージョンルーム))の充実を図ります。

ウ 大学4年間を通じて英語力を醸成する英語新カリキュラムの充実

2015年度からスタートした英語新カリキュラムでは、eラーニングを活用した1年次生の語彙学習、2年次生の文法・語法学習を実施しています。それに加え、3・4年次生用の選択科目「英語V、VI」は「英語I～IV」の上位レベルと位置付け、4技能の上級スキルトレーニングとともに、各学部の専門教育科目により近いトピックを英語で学ぶことができるようになりました。これにより、大学在学中の4年間、英語を学び続ける環境が完成します。

エ 社会学部創立50周年記念行事及び政策創造学部創立10周年記念行事の実施

1967年に開設した社会学部では、創立50周年を記念して、関関同立の関西四大学社会学系学部によるシンポジウム開催や、50周年記念誌の発刊などの記念行事を実施します。また、2007年に開設した政策創造学部では、創立10周年を記念して、記念シンポジウムの開催や、学部の紀要である『政策創造研究』の記念号発刊などの記念行事を実施します。

オ 文部科学省私立大学研究ブランディング事業に係る戦略的な研究体制整備の推進

文部科学省私立大学研究ブランディング事業への申請に向け、全学的な優先課題として推進する研究プロジェクトを、戦略的に創出する体制を強化するとともに、2016年度に採択された「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」(取組期間5年)に対する支援を行います。

カ 梅田キャンパス事業

「スタートアップ・カフェ」では、本学学生をはじめ校友、一般社会人に対して、起業・創業に関する相談や多様な啓発プログラムを実施します。また、校友や一般社会人を対象とした異業種交流サロン「KANDAI Me RISE(かんだいみらいず)倶楽部」では、本学教員や外部の専門家などを招き、会員の資質向上及び人的ネットワーク拡大に資するイベント等を実施します。



【スタートアップ支援セミナー】

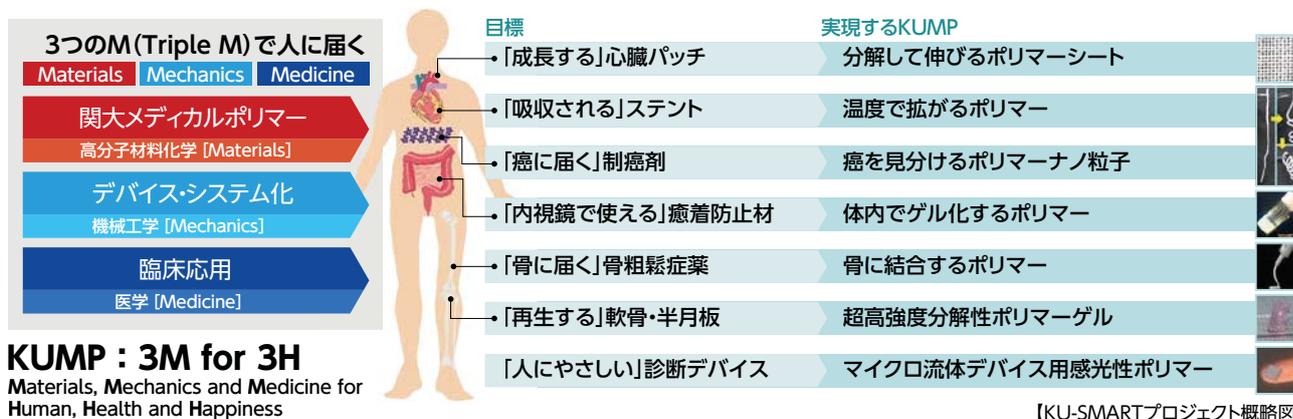
キ キャリア形成及び就職支援の充実

梅田キャンパスを含む各キャンパスにおいて、学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、多様なキャリア形成支援プログラムを展開し、企業等の採用活動の動きを踏まえ、時宜に応じた就職活動支援プログラムを推進します。また、国際インターンシップやグローバル企業体感プログラム等の充実を図り、グローバル人材養成プログラムを推進します。

ク グローバル社会で活躍できる人材養成に資するエクステンション講座の実施

UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)のエクステンション機関と締結した部局間協定に基づき、「UCLA Extension提携オンライン講座」を開講します。開設初年度は社会人(卒業生・一般)限定で開講し、以降3カ年計画で本学学生、大学院生にその対象を拡大し、各学部等教育における「補完」的な位置づけとして活用されるよう、内容を厳選して講座を開講していきます。

この他にも、教育研究の質の向上のための様々な施策を推進します。



KUMP : 3M for 3H
Materials, Mechanics and Medicine for Human, Health and Happiness

【KU-SMARTプロジェクト概略図】
(Kansai University Smart Materials for Advanced and Reliable Therapeutics)

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 千里山東体育館建替工事

1963年3月に建設し老朽化が進んでいる千里山東体育館の建替えを行います。2017年1月から5月に既存体育館の解体工事を行った後、5月に着工し、2018年3月に竣工します。

新たな体育館は、延床面積約6,900㎡、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建て、地下1階に器械体操練習場、1階に体育会部室、会議室、AT(アスレチックトレーナー)ルーム、2・3階にアリーナ、フィットネススタジオなどを設置する予定です。



【千里山東体育館 外観 イメージパース】

3 収支予算書

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『事業活動収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『**資金収支予算書**』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『**事業活動収支予算書**』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『**貸借対照表**』は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために、2016年度補正後予算及び2017年度予算を踏まえ、『予想貸借対照表』を作成しています。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

2017年度資金収支予算は、12ページに掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、549億8,200万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、567億8,500万円となりました。この結果、差し引き18億300万円を前年度繰越支払資金154億2,000万円から充当し、翌年度繰越支払資金は136億1,700万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

2017年度事業活動収支予算は、12ページに掲載の『事業活動収支予算書(総括)』のとおりです。

経常的な収支のうち、教育及び研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は3億4,200万円の支出超過となり、対前年度比較で5億5,900万円の減となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は3億7,700万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は3,500万円の収入超過、対前年度比較で4億6,500万円の減となりました。これに天六キャンパスの売却差額を含む施設設備に対する寄付金や補助金、資産の処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額44億7,100万円の収入超過を加え、予備費を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は40億600万円の収入超過となり、対前年度比較で37億6,200万円の増となりました。一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、37億9,900万円となり、対前年度比較で19億5,600万円の減となりました。

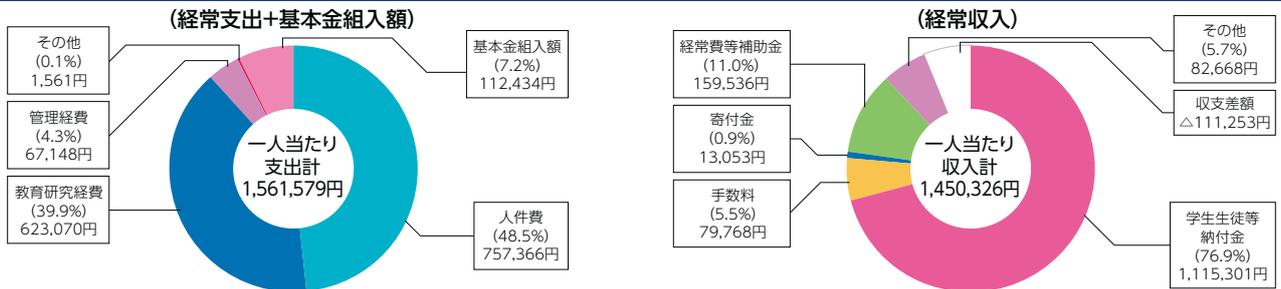
2017年度予算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた2億700万円の収入超過となり、対前年度比較で57億1,800万円の増となりました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、317億4,900万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額の外に、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が90億2,900万円ありますので、実質上の繰越収支差額はこれをあわせた407億7,800万円の支出超過となります。

なお、2017年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

2017年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,833人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減	科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
1 人件費支出	25,642,307	27,528,579	△1,886,272	1 学生生徒等納付金収入	37,755,194	37,696,789	58,405
2 教育研究経費支出	14,966,513	15,139,997	△173,484	2 手数料収入	2,686,724	2,713,640	△26,916
3 管理経費支出	2,081,860	1,954,367	127,493	3 寄付金収入	450,000	1,162,000	△712,000
4 借入金等利息支出	63,255	61,395	1,860	4 補助金収入	5,401,146	5,435,358	△34,212
5 借入金等返済支出	1,486,620	1,378,620	108,000	5 資産売却収入	4,959,775	179,171	4,780,604
6 施設関係支出	4,350,464	7,874,167	△3,523,703	6 付随事業・収益事業収入	1,113,155	1,092,982	20,173
7 設備関係支出	1,289,582	1,653,735	△364,153	7 受取利息・配当金収入	440,308	344,695	95,613
8 資産運用支出	4,482,954	4,313,942	169,012	8 雑収入	1,227,259	1,398,867	△171,608
9 その他の支出	3,433,674	2,968,751	464,923	9 借入金等収入	1,000,000	2,600,000	△1,600,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,284,973	6,278,587	6,386
11 資金支出調整勘定(小計)	△1,511,700	△3,342,721	1,831,021	11 その他の収入	3,139,903	10,552,614	△7,412,711
12 翌年度繰越支払資金	13,617,311	15,420,348	△1,803,037	12 資金収入調整勘定(小計)	△9,475,945	△7,709,935	△1,766,010
支出の部合計	70,402,840	75,451,180	△5,048,340	13 前年度繰越支払資金	15,420,348	13,706,412	1,713,936
				収入の部合計	70,402,840	75,451,180	△5,048,340

(注)「2016年度予算」は第2次補正後予算を示す。

事業活動収支予算書(総括) 2017年4月1日から2018年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減	科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
1 学生生徒等納付金	37,755,194	37,696,789	58,405	1 人件費	25,639,177	27,466,350	△1,827,173
2 手数料	2,686,724	2,713,640	△26,916	2 教育研究経費	21,079,481	21,109,369	△29,888
3 寄付金	447,000	1,156,000	△709,000	3 管理経費	2,251,557	2,128,813	122,744
4 経常費等補助金	5,399,256	5,407,368	△8,112	4 徴収不能額等	0	0	0
5 付随事業収入	1,113,155	1,092,982	20,173	教育活動支出計	48,970,215	50,704,532	△1,734,317
6 雑収入	1,227,259	2,855,055	△1,627,796	教育活動収支差額	△341,627	217,302	△558,929
教育活動収入計	48,628,588	50,921,834	△2,293,246	科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
				1 受取利息・配当金	440,308	344,695	95,613
				2 その他の教育活動外収入	0	0	0
				教育活動外収入計	440,308	344,695	95,613
				科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
				1 借入金等利息	63,255	61,395	1,860
				2 その他の教育活動外支出	0	0	0
				教育活動外支出計	63,255	61,395	1,860
				教育活動外収支差額	377,053	283,300	93,753
				経常収支差額	35,426	500,602	△465,176

特別収支			
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
1 資産売却差額	4,414,473	148,171	4,266,302
2 その他の特別収入	117,890	160,990	△43,100
特別収入計	4,532,363	309,161	4,223,202
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
1 資産処分差額	61,026	65,159	△4,133
2 その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	61,026	65,159	△4,133
特別収支差額	4,471,337	244,002	4,227,335
予備費	500,000	500,000	0
基本金組入前当年度収支差額	4,006,763	244,604	3,762,159
基本金組入額合計	△3,799,428	△5,755,014	1,955,586
当年度収支差額	207,335	△5,510,410	5,717,745
前年度繰越収支差額	△31,956,815	△26,446,405	△5,510,410
翌年度繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335

(参考)			
科目	2017年度予算	2016年度予算	増減
事業活動収入計	53,601,259	51,575,690	2,025,569
事業活動支出計	49,594,496	51,331,086	△1,736,590

(注)「2016年度予算」は第2次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 2018年3月31日

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	2017年度末	2016年度末	増減	科目	2017年度末	2016年度末	増減
固定資産	205,232,660	201,932,980	3,299,680	基本金	221,588,308	217,788,880	3,799,428
有形固定資産	118,852,720	119,500,556	△647,836	第1号基本金	198,062,362	194,314,888	3,747,474
特定資産	82,432,389	78,404,876	4,027,513	第2号基本金	100,000	100,000	0
その他の固定資産	3,947,551	4,027,548	△79,997	第3号基本金	19,975,946	19,962,992	12,954
流動資産	14,877,069	17,380,885	△2,503,816	第4号基本金	3,450,000	3,411,000	39,000
資産の部 合計	220,109,729	219,313,865	795,864	繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335
固定負債	19,884,921	20,724,649	△839,728	翌年度繰越収支差額	△31,749,480	△31,956,815	207,335
流動負債	10,385,980	12,757,151	△2,371,171	純資産の部 合計	189,838,828	185,832,065	4,006,763
負債の部 合計	30,270,901	33,481,800	△3,210,899	負債及び純資産の部 合計	220,109,729	219,313,865	795,864